



IPPUKU 2018

変わりゆくフツーについて考える3時間

きっかけは、たばこでした

ほんの数十年前まで、いろんな場所で自由に吸われていた「たばこ」。でも今、喫煙者の方々は少し肩身の狭い思いをしているかもしれません。

「普通」や「常識」とは、なんなのでしょう。

今回のイベントでは、社会のさまざまな場面・領域で起こっている「普通」の移ろいあるいは「新しい普通」の芽生えについて聞き考えてみたいと思います。

多様な問い、さまざまなモヤモヤが持ち寄られる今回の企画。

参加者のみなさん同士でも

対話する時間を設けています。

インプット（吸ったり）と

アウトプット（吐いたり）を繰り返しながら

自分の「普通」を

自分のものさしを

見つめてみませんか。

2018年9月29日(土)

13:30～16:30

すこやかプラザ多目的ホール
(フェスタ立花南館5F)

尼崎市七松町1-3-1

JR立花駅降りて南にすぐ

定員 100名

参加費 無料

たばこ対策推進条例が施行されます

2018年10月に尼崎市たばこ対策推進条例が全面施行されます。

たばこの問題は喫煙者だけではなく、市民一人ひとりの問題でもあります。

たばこのように、人によって考え方やとらえ方が異なる話題(トピック)は実は他にも社会の中で数多く見られるのではないかと、わたしたちはそう考えています。

そのようなテーマについて知り、考え、自分のスタンスや価値観を明らかにし対話の第一歩を踏み出すきっかけになればと、今回の場を企画しました。

/ 分科会テーマ /

テーマ1 まちなかに居座ること

ゲスト: 笹尾 和宏 (「公共空間の自由」の探求者)
道路や公園、河川敷など、公共の場所を使って、好きに自由に過ごせるための探求・実践を重ねる。



テーマ2 とある障害者から見た「人のあり方」

ゲスト: 大内 秀之 (一般社団法人フォースタート 理事長)
活動はアートディレクター、車いすバスケットボール選手、パラクライマーなど多岐にわたる。



テーマ3 社会と職場のルール

ゲスト: 松長 寿枝 (尼崎市人事管理課 人事課長)
市を変えていくには、まずは職員から。「尼崎市職員たばこ取組宣言」の啓発に尽力。



テーマ4 高齢者と地域

ゲスト: 首藤 義敬 (はっぴーの家ろっけん)
神戸で「介護付きシェアハウス」を運営。子どもから高齢者までが楽しく暮らしている。



テーマ5 自分でつくる暮らし

ゲスト: 畠山 千春 (いとしまシェアハウス・狩猟女子)
3.11を契機に福岡県糸島市の集落に移住。狩猟や動物の解体、シェアハウスの運営などを行う。



テーマ6 家族のカタチ

ゲスト: 樋畑 敦子 (非婚出産者)
結婚せずに子どもを生む、非婚出産を実践。信頼できる多くの友人と子どもを育てている。



TIME SCHEDULE

13:30 オープニング・稲村市長講演

14:10 ゲスト6名によるキーセッション「新しいフツーってなんだ？」
上記のゲストによる、各テーマに沿った話題提供。関心のある人の話を聞こう。

15:15 休憩

15:25 ダイアログタイム

参加者が持ち寄った問いや、主催側から投げかける問いについて考える時間。小さなグループに分かれてお話ししてみよう。

16:30 クロージング

ちよつといっぷく

お笑い行政講座が
来るよ!

お笑いで行政の取り組みを紹介している「お笑い行政講座」の方々が来ます!当日はたばこまつわるネタ(漫才)を披露していただきます。

お申し込み
尼崎市
コールセンター

TEL 06-6375-5639
平日 8:30~19:00
土・日・祝日 9:00~17:00

お問い合わせ
尼崎市保健所
事業推進担当

TEL 06-4869-3033 / FAX 06-4869-3049
Email
ama-kenkouzoushin@city.amagasaki.hyogo.jp

要約筆記や手話通訳等の情報保障が必要な方は、開催1週間前までにご連絡ください。

主催: 尼崎市保健所事業推進担当

みんなの
尼崎大学
UNIVERSITY OF NIKKAI